

# 授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2021 年度

学校名	専門学校金沢美専
学科名	美容学科(1年)

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験	1年次		2年次		合計
				前期	後期	前期	後期	
授業科目及び授業時間数表	関係法規・制度	高西 直正			30			30
	衛生管理	小島 光世	○	30	30			60
	保健	滝口 大輔	○	30	30			60
	化粧品化学	滝口 大輔	○		30			30
	文化論	坪ノ内 美樹	○	30				30
	美容技術理論	滝口 大輔	○	60	30			90
	運営管理	作本 智美			30			30
	美容実習	田中 美紀						390
	ワインディング	小島 光世	○	240	150			
	オールウエーブ	谷 知里						
	アップ基礎	水本 健一						
	美容基礎	滝口 大輔						
	サロンワーク基礎	泉谷 愛子						
	美容総合技術	谷 知里						150
	<共通> 共通技術	水本 健一	○		150			
	<ヘア stylist> カット応用 I	滝口 大輔						
	<ヘア stylist> アシスタント実務 I	泉谷 愛子						
	<ブライダル・メイク> ブライダル stylist 実務 I	表 康子						
	美容演習	滝口 大輔						60
	クリエイティブスタイル I	泉谷 愛子	○	30	30			
カラー応用	表 康子							
小 計 (単位時間)				420	510			930
一般教養	キャリア・デザイン	泉谷 愛子 表 康子		30				30
	接遇・マナー	作本 智美		30				30
小 計 (単位時間)				60				60
合 計 (単位時間)				480	510			990
うち、実務経験のある教員の時間数 (単位時間)				420	450			870

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
関係法規・制度（後期）		美容学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	高西 直正
授業の概要				
理容師・美容師の業務は公衆衛生の視点において法的規制の下にあることから、行政機関による指導のもとで法令を守った業務を行うことの重要性を学び、理容師・美容師の志望者に対して必要な法的規制の内容・仕組み等を、教科書「関係法規・制度」に準拠して学修する。				
授業終了時の到達目標				
・公衆衛生における必要な規制内容等の抽象的な事項について、美容業務の遂行過程における具体的な場面や事項を自らが説明できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	関係法規・制度のガイダンス 法制度の概要	関係法規・制度の授業手順・美容師試験の概要について説明し、日本における法制度の概要について学修する		
2	衛生行政	衛生行政の概要 衛生行政の分類と美容業との関係を学ぶ。		
2	衛生行政2	衛生行政を担う行政機関について学修する。		
3	美容師法の目的	美容師法の目的および用語についての定義を説明できる。		
4	美容師に関する規定	美容師法の人に関する規定のうち、概説および養成施設についてを学修する。		
5	受験・免許登録等	美容師国家試験受験までの手順を知り、免許・登録等を学ぶ。		
6	確認テスト	ここまでの学修を振り返り、確認テストを実施する。		
7	美容師の義務	公衆衛生上、美容師等の業務上遵守事項を学ぶ。		
8	行政処分	行政処分の類型及び管理美容師制度を学ぶ。		
9	確認テスト1	ここまでの学修を振り返り、確認テストを実施する。		
10	美容所の開設	美容所の開設手順、保健所の検査確認等を学ぶ。		
12	開設者が講ずべき衛生措置・その他	開設者が行うべき美容所の衛生措置の内容 その他を具体的に学修する。		
13	立入検査と環境衛生監視委員・その他 憲法第35条	美容所への立ち入り検査、及び違反者等に対する行政処分等を説明できる。		
14	理容師法・美容師法の罰則 関連法規	刑事罰である罰則及び衛生法等の関連法規を理解する。		

回	テ ー マ	内 容		
15	確認テスト2	ここまでの学修を振り返り、確認テストを実施する。		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	関係法規・制度 公益社団法人日本理容美容教育センター	確認テスト1 確認テスト2 期末試験	20.0% 20.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理(前期)		美容学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小島 光世
授業の概要				
公衆衛生とは何か。公衆衛生の実態・保健所の役割、保健についての基礎知識を環境衛生について、健康を維持するためには、生活習慣の適正化を図る。必要がある事なども学修する。衛生分野を学修し、併せて美容業を修得する。				
授業終了時の到達目標				
美容業は公衆衛生の向上に努めなければならない、そのため知識・理解を深め美に関わる職業人の自覚を作る。 環境が及ぼす健康の影響を知ること、社会人として適切な行動を修得。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	公衆衛生の概要① 公衆衛生の意義と課題	美容師にとって欠かすことのできない公衆衛生について考える。		
2	公衆衛生の概要② 公衆衛生発展の歴史	公衆衛生の発展及び理容業美容業と関連あるある消毒法の歴史を知る。		
3	保健① 母子保健	母子保健と学校保健。		
4	保健② 成人・高齢者保健	死亡率・平均寿命・生活習慣病。		
5	保健③ 成人・高齢者保健	健康増進対策・がん・心臓病・脳卒中。		
6	保健④ 成人・高齢者保健	糖尿病・喫煙・アルコール・身体活動、運動・高齢者の保健と福祉。		
7	保健⑤ 精神保健	概要・心の健康・地域精神保健福祉活動。		
8	環境衛生① 環境衛生	周りの環境を考える。		
9	環境衛生② 環境衛生の目的と意義	気候・環境の悪化防止感染症の発生しない環境整備。		
10	環境衛生③ 空気と健康	空気成分・空気中に発生する有害物質、空気中の微生物。		
11	環境衛生④ 温度、湿度、気流と健康	温度・湿度・気流・輻射熱・温熱指標の関係性。		
12	環境衛生⑤ 1衣服の衛生 2住居の衛生	衣服、食物、住居と健康との関わりについて。体温調節、採光と照明・換気・冷暖房。		
13	環境衛生⑥ 上水道 下水道 廃棄物 衛生害虫 等	上下水供給 一般廃棄物・産業廃棄物。衛生害虫 ネズミ 環境保全 水質汚濁。		
14	公衆衛生 公衆衛生の概要 保健	理容師・美容師にとって欠かすことのできない公衆衛生、消毒法の歴史、保健の基礎知識・母子・高齢者・精神保健を考察する(復習)		

回	テ ー マ	内 容		
15	環境衛生	環境衛生の概要・空気環境・衣服、住居の衛生・上下水道、廃棄物の考察(復習)。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
衛生管理 公益社団法人 日本理容美容教育センター		期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	授業の前後には、 予習復習をして習熟を図る事。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理(後期)		美容学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小島 光世
授業の概要				
生活の中に関連する疾病の原因も歴史から紐解き、法律と人が貢献している過去を知る。 微生物の種類・構造・生態・特徴をテキストに沿って 感染症の機序・流行・防疫について 感染症予防の方法を学修する。併せて自分自身でできる予防方法も考察。				
授業終了時の到達目標				
感染症の原因である微生物の理解をすることにより、感染症罹患者及び生活環境に対して、適切な対処方法を取る事が出来るようになる。新興感染症・再興感染症に関しても理解を深め、これらの理解に基づき、安全で適切な接客方法が考え付くよう修得する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンの店長として、5年間サロンの運営及び経営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	感染症 人と感染症①	感染症発見の歴史。感染症と法律。		
2	感染症 人と感染症②	感染症の分類(法律上の分類)。		
3	感染症 人と感染症③	感染症の分類(病原体の身体への侵入・媒介経路の分類・病原体別による分類)。		
4	感染症 病原微生物①	微生物の種類 微生物の形と大きさ(微生物の形・大きさ)。		
5	感染症 病原微生物②	微生物の構造(細菌の構造・ウイルスの構造)。		
6	感染症 病原微生物③	微生物の増殖と環境の影響(細菌の増殖・細菌に対する環境の影響・ウイルスの増殖と宿主細胞との関係)。		
7	感染症 感染症の予防①	微生物の病原性と人体の感受性 汚染、感染及び発病。		
8	感染症 感染症の予防②	常在細菌叢 免疫と予防接種。		
9	感染症 感染症の予防③	感染症発生の要因 感染症予防の3原則。		
10	感染症 総論	理容師・美容師の条件、感染症についての的確な知識・技能を考察する(復習)。		
11	感染症の各論① 理容・美容と感染症	空気・飛沫を介して感染する感染症(2類)。		
12	感染症の各論② 主な感染症	空気・飛沫を介して感染する感染症(5類)。		
13	感染症の各論③ 主な感染症	空気・飛沫を介して感染する感染症(5類)。		
14	感染症の各論④ 主な感染症	飲食物を介して感染する感染症(2・3類)。		

回	テ ー マ	内 容		
15	感染症の各論⑤ 主な感染症 具体的な対策の例	血液を介して感染する感染症(5類) 動物・節足動物を介して感染する感染症(1類) 標準予防策、咳のある客、病変の皮膚を持つ客への対応。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
衛生管理公益社団法人 日本理容美容教育センター		期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	授業の前後には、 予習復習をして習熟を図る事。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健 (前期)		美容学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	滝口 大輔
授業の概要				
<p>これから学ぶ「保健」は「健康を保つ」という意味です。健康には身体的な意味のほかに、精神的、社会的な健康という面もあります。非常に多面的ではありますが、この授業では人間の美の源泉ともいえる身体的な健康について学んでいきます。</p> <p>理容師・美容師は、頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業なので、一般の人以上に解剖学や生理学に関する知識を深めていきましょう。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>第1編では、人体の構造や機能を全体的に学びその知識を習得することを目標とします。</p> <p>第2編では、理容師・美容師の皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品などを使用する業務の特徴から、とくに皮膚や毛髪に関する深い知識を学び習得することを目標とします。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
<p>まずテキストを読み、理容・美容保健を学ぶ大きな流れを把握すること。</p> <p>講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。</p>				
回	テーマ	内容		
1	第1編 1章 「理容・美容保健」と理容師・美容師①	人体各部の名称、頭部・顔部・頸部の体表解剖学について学修する。		
2	第1編 1章 「理容・美容保健」と理容師・美容師②	耳とその周辺、鼻とその周辺、口とその周辺、プロポーションについて学修する。		
3	第1編 2章 細胞と体液	細胞から系統まで、体液のあらまし、血液のあらましについて学修する。		
4	第1編 3章 骨格器系①	骨の種類と構造、骨の連結、について学修する。		
5	第1編 3章 骨格器系②	骨格器系とそのはたらき、骨の保健について学修する。		
6	第1編 4章 筋系①	筋の種類とその特徴、主な骨格筋とそのはたらきについて学修する。		
7	第1編 4章 筋系②	顔面筋と表情運動、理容・美容の作業と筋疲労、筋系の保健について学修する。		
8	第1編 1章～4章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P8～P39) テスト後、解答・解説。		
9	第1編 5章 神経系	神経系の成り立ち、中枢神経とそのはたらき、末梢神経とそのはたらき、神経系の保健について学修する。		
10	第1編 6章 感覚器系	視覚、聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚、深部感覚と内臓感覚について学修する。		
11	第1編 7章 循環器系①	血液循環の仕組み、血液の循環経路について学修する。		
12	第1編 7章 循環器系②	心臓と血管のはたらき、リンパ管系の仕組みとはたらき循環器系の保健について学修する。		
13	第1編 8章 呼吸器系①	呼吸器系のあらまし、気道、肺の仕組みとガス交換、呼吸運動、呼吸器系の保健について学修する。		
14	第1編 5章～8章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P40～P65) テスト後、解答・解説。		



回	テ ー マ	内 容		
15	第1編 1章～8章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P8～P65) テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
理容・美容保健（公益社団法人日本理容美容教育センター監修） ワークブック（公益社団法人日本理容美容教育センター監修）		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健 (後期)		美容学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	滝口 大輔
授業の概要				
<p>これから学ぶ「保健」は「健康を保つ」という意味です。健康には身体的な意味のほかに、精神的、社会的な健康という面もあります。非常に多面的ではありますが、この授業では人間の美の源泉ともいえる身体的な健康について学んでいきます。</p> <p>理容師・美容師は、頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業なので、一般の人以上に解剖学や生理学に関する知識を深めていきましょう。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>第1編では、人体の構造や機能を全体的に学びその知識を習得することを目標とします。</p> <p>第2編では、理容師・美容師の皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品などを使用する業務の特徴から、とくに皮膚や毛髪に関する深い知識を学び習得することを目標とします。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
<p>まずテキストを読み、技術を積み重ねる大きな流れを把握すること。</p> <p>講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。</p>				
回	テーマ		内容	
1	第1編	9章 消化器系①	消化器系のあらまし、消化器系の仕組み、消化管のはたらきについて学修する。	
2	第1編	9章 消化器系①	消化腺とそのはたらき、消化と物質代謝、消化器系の保健について学修する。	
3	第1編	10章 泌尿器系	泌尿器系の仕組み、泌尿器系のはたらき、泌尿器系の保健について学修する。	
4	第1編	11章 内分泌器系①	人体とホルモン、下垂体（脳下垂体）、甲状腺と上皮小体、膵臓について学修する。	
5	第1編	11章 内分泌器系②	副腎、精巣と卵巣、内分泌器系の調節機構、ストレス、内分泌器系の保健について学修する。	
6	第1編	12章 環境と生体	生理的適応、免疫的適応について学修する。	
7	第1編	9章～12章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P66～P93) テスト後、解答・解説。	
8	第2編	1章 皮膚の構造①	皮膚の表面、皮膚の断面、表皮、表皮と真皮の境について学修する。	
9	第2編	1章 皮膚の構造②	真皮、皮下組織、皮膚の部位差、について学修する。	
10	第2編	2章 皮膚付属器官の構造①	毛について学修する。	
11	第2編	2章 皮膚付属器官の構造②	脂腺（皮脂腺）、汗腺、爪、について学修する。	
12	第2編	3章 皮膚の循環器系と神経系	皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経について学修する。	
13	第2編	1章～3章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P96～P121) テスト後、解答・解説。	
14	第1編	9章～第2編 3章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P66～P121) テスト後、解答・解説。	

回	テ ー マ	内 容		
15	第1編 1章～第2編 3章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P8～P121) テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
理容・美容保健（公益社団法人日本理容美容教育センター監修） ワークブック（公益社団法人日本理容美容教育センター監修）		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
化粧品化学 (後期)		美容学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	滝口 大輔
授業の概要				
<p>理容・美容の技術を行う際、器具と同様に多用するものが化粧品です。          化粧品とはシャンプー剤、スキンケア剤、カラーリング・パーマ剤等のことで、これらはお客様の髪、肌、爪などの様々な部位において直接使用します。          そのため使い方によっては重大な損傷をあたえる事故につながることもあります。          この授業では美容師として必要な、化粧品の性状や使い分け、社会的な意義や法的な根拠、安全性をどのように担保しているかというところまで学んでいきます。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>化粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が化粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性も含めた安全性についての知識を習得する。          なお、つけまつ毛やまつ毛エクステンション、つけ爪等のネイル製品は化粧品ではないが、身体に直接装着するものであり、つけ外しの容易な装飾品とは異なり化粧品に準ずるものです。そのため、これらについても化粧品と同様に材料と使用方法について知識を習得していきます。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
<p>まずテキストを読み、化粧品を学ぶ大きな流れを把握すること。          講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。</p>				
回	テーマ	内容		
1	1章 化粧品概論①	化粧品の社会的意義、化粧品の品質と必要条件、化粧品の定義について学修する。		
2	1章 化粧品概論②	化粧品の製造販売の規制、化粧品の品質等の規制、化粧品の表示・広告の規制について学修する。		
3	1章 化粧品概論③	化粧品の安定性、化粧品の経時変化、化粧品の使用上・取り扱い上の注意について学修する。		
4	1章 化粧品概論④	化粧品と安全性、表示成分と安全性、化粧品によるトラブルについて学修する。		
5	1章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P9~P30) テスト後、解答・解説。		
6	2章 化粧品用原料①	化粧品の種類と機能、皮膚と水、頭皮や毛髪 of 健康な状態、爪の性状、まぶたや口唇の性状について学修する。		
7	2章 化粧品用原料②	化粧品のなりたち、水、エタノール、油脂、ロウ類について学修する。		
8	2章 化粧品用原料③	炭化水素、その他の油性原料、油性原料の機能について学修する。		
9	2章 化粧品用原料④	界面活性剤の基本的性質、界面活性剤の種類について学修する。		
10	2章 化粧品用原料⑤	界面活性剤の化粧品への応用、高分子化合物の種類と特性、高分子化合物の化粧品への応用について学修する。		
11	2章 化粧品用原料⑥	色材と化粧品、無機顔料、有機合成色素 (タール色素)、光輝性顔料 (パール顔料)、天然色素について学修する。		
12	2章 化粧品用原料⑦	香料と化粧品、香料の種類、調合香料、について学修する。		

回	テ ー マ	内 容		
13	2章 化粧品用原料⑧	化粧品原料の品質保持に用いられる配合成分、化粧品配合成分があたえる機能、について学修する。		
14	2章 化粧品用原料⑨	その他の特殊成分、合成樹脂、接着剤、塗料について学修する。		
15	2章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P31~P84) テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
化粧品化学 (公益社団法人日本理容美容教育センター監修) ワークブック (公益社団法人日本理容美容教育センター監修)		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	まずテキストを読み、化粧品を学ぶ大きな流れを把握すること。講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文化論 (前期)		美容学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	坪ノ内 美樹
授業の概要				
人の歴史の最古から、理容、美容がかかわってきたことを学ぶことは、今を知るためにとても重要である。日本と西洋、それぞれの歴史の中にみる理容、美容は、各時代の人々が、どのような時代背景の中で、どのような美しさを求めたのかを知ることができる。これらの知識が今求められている「美しさ」の意味を知る手掛かりとなることを学修する。				
授業終了時の到達目標				
ここで学ぶ文化論の中には、コンセンスを得るためのヒントや、創造の幅を広げるエッセンスが多く存在している。現代美容までの歴史の背景を理解し説明もできる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	日本の理容業、美容業の歴史	日本のあらしを知り、現代の理容、美容師がどのように確立されたかを学修する。		
2	ファッション文化史 日本編 縄文、弥生、古墳時代	日本列島に人が住みはじめたのは、今から4万年ほど前の氷河期。当時の発掘資料や文献から学修する。		
3	ファッション文化史 日本編 古代 (飛鳥、奈良、平安時代)	遣隋使により、大陸の文化を吸収。日本風の文化の象徴について学修する。		
4	ファッション文化史 日本編 中世 (平安末、鎌倉、室町、戦国時代)	院政の開始以降、政治の実権が変わり 時代背景を学修する。		
5	ファッション文化史 日本編 近世Ⅰ 近世Ⅱ (戦国末、江戸時代)	江戸時代になり、社会が安定。諸制度、経済基盤、身分階級の違いについて学修する。		
6	ファッション文化史 日本編 近代 (明治・大正・昭和20年まで)	江戸幕府の倒幕により新しい政府ができ、日本は西欧流の近代国家をめざすべき改革について学修する。		
7	ファッション文化史 日本編 現代Ⅰ・Ⅱ	情報通信技術の発達、世界規模でファッションが動いていく様子を学ぶ。パーマネントウエーブの普及。		
8	ファッション文化史 日本編 現代Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	情報通信技術の発達、世界規模でファッションが動いていく様子を学ぶ。ボーダレス時代を知る。		
9	ファッション文化史 日本編 現代Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	情報通信技術の発達、世界規模でファッションが動いていく様子を学ぶ。リアルクローズ、その他の動き学修する。		
10	ファッション文化史 日本編 確認テスト1	日本のファッション文化史のまとめとして確認テストを行う。		
11	ファッション文化史 西洋編 古代エジプト、古代ギリシャ・ローマ	髪型、化粧、服装の違いについて当時の人達の生活について理解する。		
12	ファッション文化史 西洋編 古代ゲルマン・中世ヨーロッパ	14、15世紀には華やかなファッションが生まれ現代に通じる洋服の典型的なスタイルが成立した。		
13	ファッション文化史 西洋編 近世Ⅰ、近世Ⅱ	16世紀、17世紀の貴族の歴史について学修する。		
14	ファッション文化史 西洋編 近世Ⅲ	優雅な社交界、独特な文化の交流について学修する。		

回	テ ー マ	内 容		
15	ファッション文化史 西洋編 確認テスト2	西洋のファッション文化史の近世までのまとめとして、確認テストを行う。		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	文化論 (公社) 日本理容美容教育センター教科書	確認テスト1 確認テスト2 期末試験	20.0% 20.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論 (前期)		美容学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	滝口 大輔
授業の概要				
<p>技術にはその裏付けとなる理論が必ずあります。          理論とは「なぜそうなるのか」を解明し、技術について整然と筋道を立てて説明できるように組みなおしたものです。          つまり理論とは「なぜそうなるのか」を解き明かす大事な鍵なのです。          この授業では技術という扉を開けるこの「鍵」を学んでいきます</p> <p style="text-align: center;">授業終了時の到達目標</p> <p>美容の教育は理論によるところと感性や感覚に負うところの、いわゆる2つの側面を有しています。そのうち理論を習得することを目標とします。          具体的には毛髪をどのように巻いたらどのようなウェーブが得られるかといったような、技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする、いわゆる理論思考の習得です。          それと合わせて技術だけの習得ではなく、公衆衛生の維持向上に貢献する美容師としての知識も美容技術理論で学び習得していきます。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
まずテキストを読み、技術を積み重ねる大きな流れを把握すること。 講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内 容		
1	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と美容技術、作業姿勢、人体各部の名称について学修する。		
2	1章 美容用具①	美容技術における用具、コーム、ブラシについて学修する。		
3	1章 美容用具②	シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッドについて学修する。		
4	1章 美容用具③	ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機について学修する。		
5	1章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P4~P33) テスト後、解答・解説。		
6	2章 シャンプーイング①	シャンプー総論について学修する。		
7	2章 シャンプーイング②	サイドシャンプー、バックシャンプーについて学修する。		
8	2章 シャンプーイング③	リンス・コンディショナー・トリートメントについて学修する。		
9	2章 シャンプーイング④	スカルプトリートメント、ヘッドスパについて学修する。		
10	2章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P34~P63) テスト後、解答・解説。		
11	3章 ヘアデザイン①	美容とデザイン、錯覚現象について学修する。		
12	3章 ヘアデザイン②	デザインの要素、点、線、面について学修する。		
13	3章 ヘアデザイン③	デザインの原理、群化の法則、方向、比率について学修する。		



回	テーマ	内 容		
14	3章 ヘアデザイン④	シンメトリー、バランス、調和と対比、リズムについて学修する。		
15	3章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P64~P85) テスト後、解答・解説。		
16	1章~3章まとめ	復習テスト 出題範囲 (P4~P85) テスト後、解答・解説。		
17	4章 ヘアカット①	ヘアカットとは、シザーズとレザーの扱い方、美容刃物について学修する。		
18	4章 ヘアカット②	ヘアカットの正しい姿勢、ブロッキング、ヘアカットの基礎理論について学修する。		
19	4章 ヘアカット③	ベーシックなカット技法について学修する。		
20	4章 ヘアカット④	シザーズによるカット技法について学修する。		
21	4章 ヘアカット⑤	レザーによるカット技法について学修する。		
22	4章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P86~P124) テスト後、解答・解説。		
23	5章 パーマネントウェービング①	パーマネントウェーブの歴史と現在、パーマネントウェーブの理論について学修する。		
24	5章 パーマネントウェービング②	パーマ剤の分類、パーマ剤に関する注意事項について学修する。		
25	5章 パーマネントウェービング③	パーマネントウェーブ技術について学修する。		
26	5章 パーマネントウェービング④	ワインディングのバリエーションについて学修する。		
27	5章 パーマネントウェービング⑤	縮毛矯正 (高温整髪用アイロン使用) について学修する。		
28	5章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P126~P156) テスト後、解答・解説。		
29	4章~5章まとめ	復習テスト 出題範囲 (P86~P156) テスト後、解答・解説。		
30	1章~5章まとめ	復習テスト 出題範囲 (P4~P156) テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 (公益社団法人日本理容美容教育センター監修) ワークブック (公益社団法人日本理容美容教育センター監修)		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論 (後期)		美容学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	滝口 大輔
授業の概要				
<p>技術にはその裏付けとなる理論が必ずあります。            理論とは「なぜそうなるのか」を解明し、技術について整然と筋道を立てて説明できるように組みなおしたものです。            つまり理論とは「なぜそうなるのか」を解き明かす大事な鍵なのです。            この授業では技術という扉を開けるこの「鍵」を学んでいきます。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>美容の教育は理論によるところと感性や感覚に負うところの、いわゆる2つの側面を有しています。            そのうち理論を習得することを目標とします。            具体的には毛髪をどのように巻いたらどのようなウェーブが得られるかといったような、技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする、いわゆる理論思考の習得です。            それと合わせて技術だけの習得ではなく、公衆衛生の維持向上に貢献する美容師としての知識も美容技術理論で学び習得していきます。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
<p>まずテキストを読み、技術を積み重ねる大きな流れを把握すること。            講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。</p>				
回	テーマ	内容		
1	6章 ヘアセッティング①	ヘアセッティング、ヘアパーティング、ヘアシェーピング、ヘアカーリング?について学修する。		
2	6章 ヘアセッティング②	ヘアカーリング?について学修する。		
3	6章 ヘアセッティング③	ヘアウェービング?について学修する。		
4	6章 ヘアセッティング④	ヘアウェービング?について学修する。		
5	6章 ヘアセッティング⑤	ローラーカーリングについて学修する。		
6	6章 ヘアセッティング⑥	ブロードライについて学修する。		
7	6章 ヘアセッティング⑦	アイロンセッティング、バックコーミングについて学修する。		
8	6章 ヘアセッティング⑧	アップスタイル、ウィッグとヘアピースについて学修する。		
9	6章 まとめ	復習テスト 出題範囲 (P158~P219) テスト後、解答・解説。		
10	7章 ヘアカラーリング①	ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズムについて学修する。		
11	7章 ヘアカラーリング②	色の基本、毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテストについて学修する。		
12	7章 ヘアカラーリング③	染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤 (アルカリ性タイプカラー) の技術手順について学修する。		

回	テ ー マ	内 容		
13	7章 ヘアカラーリング④	酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ（脱色）、シャンプー剤・ヘアトリートメント剤の構成成分について学修する		
14	7章 まとめ	復習テスト 出題範囲（P220～P245）テスト後、解答・解説。		
15	1章～7章まとめ	復習テスト 出題範囲（P4～P245）テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論（公益社団法人日本理容美容教育センター監修） ワークブック（公益社団法人日本理容美容教育センター監修）		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	まずテキストを読み、技術を積み重ねる大きな流れを把握すること。 講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
運営管理 (後期)		美容学科/1年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	作本 智美
授業の概要				
経営者の視点 (立場にたつという意味) での経営意識を持つ。そのために経営者の立場から仕事を考える。経営の基本を身につけ、組織マネジメントが重要であることを学修する。				
授業終了時の到達目標				
経営基本をイメージし、組織マネジメントが重要である事を認識する。				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	経営の必要性と経営資源・経営計画・経営戦略	なぜ経営が必要なのかを理解し、それを実現するための経営計画、経営戦略について学修する。		
2	理容、美容業界の現状	経営戦略を立てるために必要な外部環境としての業界の現状について学修する。		
3	資金の管理	資金管理の重要性と収支と損益、会計の考え方について学修する。		
4	確認テスト1	ここまでの学修を振り返り、確認テストを実施する。		
5	人的資源管理	企業の中での人的資源管理としての労務管理の重要性について学修する。		
6	労働者の権利・美容所における健康問題	労働者の権利としての労働法および、美容所における健康の確保について学修する。		
7	従業員として果たすべき責任	従業員として果たすべき責任を理解し、公的年金について学修する。		
8	従業員として果たすべき責任②	医療保険制度、労働保険制度について学修し、キャリアプランの重要性について理解する。		
9	確認テスト2	ここまでの学修を振り返り、確認テストを実施する。		
10	サービス・デザイン	顧客が求める価値を理解し、その満足度を高めるためのサービスの提供について学修する。		
11	マーケティング	理容業・美容業におけるマーケティングについて学修する。		
12	マーケティングミクス	理容業・美容業におけるマーケティングミクスを構成する要因について学修する。		
13	接客	サービスにおける接客の重要性について理解し、良い接客とは何かを考える		
14	確認テスト3	ここまでの学修を振り返り、確認テストを実施する。		

回	テ ー マ	内 容		
15	学修の総まとめ	これまでの学修の総まとめとして、特に重点的なポイントについて、問題演習をしながら確認する。		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	運営管理 (公社) 日本理容美容教育センター教科書	確認テスト1 確認テスト2 確認テスト3 期末試験	10.0% 10.0% 10.0% 70.0%	まずテキストを読み、学修の大きな流れを把握すること。 教科書・講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(ワインディング) (前期)		美容学科/1年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	田中美紀/小島光世/水本健一/ 滝口大輔/泉谷愛子/
授業の概要				
美容師国家試験課題のワインディング実習を通して学修し、国家試験合格レベルの技術の修得を目指します。 ※ワインディングとはパーマをかけるときにロッドを髪に巻きつける技術。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次の国家試験に向けてワインディングの基礎技術が修得できる。</li> <li>・8月、9月に開催される学外コンテストに向けて30分以内でワインディングを完成させれる技術が修得できる。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の後にはその日の内容を復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	ワインディング概要説明・事前準備	道具の名称、セッティング方法、ウィックの濡らし方、コームの持ち方について学修する。		
3~ 4	ワインディング実習・事前準備	準備作業としてのオールバックのとかし方、縦スライスの取り方、横スライスの取り方について学修する。		
5~ 6	ワインディング実習・ブロッキング	10ブロックの説明、正確な10ブロックについて学修する。		
7~ 8	ワインディング実習・ブロッキング、タイム計測	10ブロックの復習を行い、規定の時間内にブロッキングの作業を完了させることを学修する。		
9~ 10	【定期チェック1】 ワインディング実習・ブロッキング	10ブロックの復習を行い、ブロッキングの総まとめのためのチェックを行う。		
11~ 12	ワインディング実習・第2ブロック、上巻き	10ブロックの復習を行い、上巻きを学修する。		
13~ 14	ワインディング実習・第3ブロック、下巻き	10ブロックの復習を行い、ピンク4本、ページュ1本の下巻きの巻き方について学修する。		
15~ 16	ワインディング実習・第4ブロック、下巻き	10ブロックの復習を行い、ページュ2本、ブルー3本の巻き方について学修する。		
17~ 18	ワインディング実習・第2, 3, 4ブロックのセンター	10ブロックの復習を行い、センターのバランスについて学修する。		
19~ 20	ワインディング実習・センター	10ブロック、センターまでを通して作成することを学修する。		
21~ 22	ワインディング実習・センター②	10ブロック・センターまでを30分で作成することを学修する。		
23~ 24	【定期チェック2】 ワインディング実習・ブロッキング、センター	10ブロック・センターまでを30分で作成し、ここまでの学習のチェックを行う。		
25~ 26	ワインディング実習・フロント~右バックサイド	オレンジ9本とピンク3本、ページュ2本、ブルー2本の説明。計16本の巻き方について学修する。		

回	テ ー マ	内 容		
27～ 28	ワインディング実習・フロント～右 バックサイド～サイド	前回の復習および、サイドのピンク2本、ベージュ2本の巻き方について学修する。		
29～ 30	ワインディング実習・フロント、右 サイド	フロントから右サイドまで通して復習、作成することを学修する。		
31～ 32	ワインディング実習・センター右サ イド復習	10ブロック～右サイドまで通して復習、作成することを学修する。		
33～ 34	ワインディング実習・センター、右 サイド、フロント	フロント、センター、右サイドまでを40分で完成させることを学修する。		
35～ 36	ワインディング実習・左バックサイ ド	右サイドになぞらえて左サイドのオレンジ6本、ピンク3本、ベージュ2本、ブルー2本の巻き方について学修する。		
37～ 38	ワインディング実習・左バックサイ ド～サイド	ピンク2本、ベージュ2本の説明。オレンジ～左サイドまでの巻き方について学修する。		
39～ 40	ワインディング実習・全頭復習	センターから通して全頭作成。完成後の全体バランスを学修する。		
41～ 42	ワインディング実習・全頭40分	ブロッキング5分、ワインディングをセンターから通して全頭を40分で作成。		
43～ 44	ワインディング実習・全頭40分	ブロッキング5分、ワインディングをセンターから通して全頭を40分で作成。完成後のバランスを学修する。		
45～ 46	【定期チェック3】ワインディング 実習・全頭40分	ブロッキング5分、ワインディングをセンターから通して全頭を40分で作成。これまでの学習のチェックを行う。		
47～ 48	ワインディング実習・全頭35分	ブロッキング3分、ワインディングをセンターから通して全頭を35分で作成。完成後のバランスを学修する。		
49～ 50	ワインディング実習・全頭35分	ブロッキング3分、ワインディングをセンターから通して全頭を35分で作成。		
51～ 52	ワインディング実習・全頭30分	ブロッキング3分、ワインディングをセンターから通して全頭を30分で作成。		
53～ 54	ワインディング実習・全頭30分	ブロッキング3分、ワインディングをセンターから通して全頭を30分で作成。完成後のバランスを学修する。		
55～ 56	ワインディング実習・全頭27分	ブロッキング3分、ワインディングをセンターから通して全頭を27分で作成。		
57～ 58	ワインディング実習・全頭27分	ブロッキング3分、ワインディングをセンターから通して全頭を27分で作成。完成後のバランスを学修する。		
59～ 60	【定期チェック4】ワインディング 実習・全頭27分	ブロッキング3分、ワインディングをセンターから通して全頭を27分で作成。これまでの学習をチェックする。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ワインディング用具一式 美容技術理論（公益社団法人日本理容美容 教育センター）		定期チェック1 定期チェック2 定期チェック3 定期チェック4 学期末試験	10.0% 10.0% 10.0% 10.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(ワインディング) (後期)		美容学科/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	田中美紀/小島光世/水本健一/ 滝口大輔/泉谷愛子/
授業の概要				
この科目では美容師国家試験課題のワインディング実習を通して学修し、国家試験合格レベルの技術の修得を目指します。 ※ワインディングとはパーマをかけるときにロッドを髪に巻きつける技術。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次の国家試験に向けてワインディングの基礎技術が修得できる。</li> <li>・8月のSPCコンテスト、9月の彦田コンテストに向けて30分以内でワインディングを完成させれる技術が修得できる。</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 谷は美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~ 2	ワインディング実習・全頭25分	10ブロックから全頭25分で作成。作業速度を上げながら作業精度を保つことを学修する。		
3~ 4	ワインディング実習・全頭25分	前期の復習を兼ねて全頭25分で完成させる。時間内での精度を高める技術を学修する。		
5~ 6	ワインディング実習・全頭25分	前回の復習を兼ねて全頭25分で完成させる。時間内での精度を高める技術を学修する。		
7~ 8	【定期チェック1】 ワインディング実習・全頭25分	これまでの復習として、全頭25分のチェックを行う。		
9~ 10	ワインディング実習・全頭22分	10ブロックから全頭25分で作成。作業速度をさらに上げながら作業精度を保つことを学修する。		
11~ 12	ワインディング実習・全頭22分	前回の復習を兼ねて全頭22分で完成させる。時間内での精度を高める技術を学修する。		
13~ 14	ワインディング実習・全頭22分	全頭22分の総仕上げ。基礎力の定着と仕上がりの安定化を学修する。		
15	【定期チェック2】 ワインディング実習・全頭22分	これまでの復習として、全頭22分のチェックを行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ワインディング用具一式 美容技術理論（公益社団法人日本理容美容教育センター）		定期チェック1 定期チェック2 期末試験	15.0% 15.0% 70.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(オールウェーブ) (後期)		美容学科/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	90単位時間	必須	田中美紀/小島光世/谷知里/水本健一/滝口大輔/泉谷愛子/
授業の概要				
この科目では美容師国家試験課題のオールウェーブを実習を通して学修し、国家試験合格レベルの技術の習得を目指します。 ※オールウェーブとはローションを用いて髪の毛をスタイリングする技術。				
授業終了時の到達目標				
試験時間40分で国家試験基準のバランスを作れる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 谷は美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
実習の後にはその日の内容を復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~ 2	オールウェーブ概要・解説・ウィッグ仕込み	今後の作業、仕込みが行いやすいように理論解説。 今後の学修に向けてウィッグの仕込みを行う		
3~ 4	作業の基本の学修 半円シェープとリッジ	道具のセッティングの仕方、ローションの塗布、コームの使い方を学び、半円シェープとリッジの作り方について学修する。		
5~ 6	スカルプチュアカールについて	半円シェープとリッジの作り方を復習し、スカルプチュアカールの作り方について学修する。		
7~ 8	フィンガーウェーブ	フィンガーウェーブの作り方を学修する。		
9~ 10	オールウェーブセッティングの構成の説明、1段目までを作成	1パート7段構成について理解し、オールバックの仕方、1段目の作成について学修する。		
11~ 12	1段目、2段目の作成	1段目から2段目の作成について学修する。		
13~ 14	1段目~3段目の作成	前回までの復習をし、3段目までの作成について学修する。		
15~ 16	3段目までの復習とフィンガーウェーブの作成	3段目までの作成を振り返り、サイドのフィンガーウェーブも併せて作成する。		
17~ 18	【定期チェック1】3段目+サイドウェーブ	ここまでの復習を行い、3段目+サイドのウェーブの作成についてのチェックを行う。		
19~ 20	4段目、5段目の作成	これまでの作成方法の復習と、新たに4段目、5段目の作成について学修する。		
21~ 22	6段目、7段目	これまでの作成方法の復習と、新たに6段目、7段目の作成について学修する。		
23~ 24	全頭練習	1段目から7段目を通して作成し、全体のバランスを学修する。		
25~ 26	【定期チェック2】 全頭練習	ここまでの復習を行い、7段すべての作成についてチェックを行う。		

回	テーマ	内 容		
27～ 28	オールウェーブ実習①	60時間を計測して1段目から7段目まで通して作成。全体のバランスを学修する。		
29～ 30	オールウェーブ実習②	60時間を計測して1段目から7段目まで通して作成。全体のバランスを学修する。		
31～ 32	【定期チェック3】 オールウェーブ実習③	これまでの学修の成果として、60分で全頭作成することについてチェックを行う。		
33～ 34	オールウェーブ実習④	50時間を計測して1段目から7段目まで通して作成。全体のバランスを学修する。		
35～ 36	オールウェーブ実習⑤	50時間を計測して1段目から7段目まで通して作成。全体のバランスを学修する。		
37～ 38	【定期チェック4】 オールウェーブ実習⑥	これまでの学修の成果として、50分で全頭作成することについてチェックを行う。		
39～ 40	オールウェーブ実習⑦	40時間を計測して1段目から7段目まで通して作成。全体のバランスを学修する。		
41～ 42	オールウェーブ実習⑧	40時間を計測して1段目から7段目まで通して作成。全体のバランスを学修する。		
43～ 44	オールウェーブ実習⑨	40時間を計測して1段目から7段目まで通して作成。全体のバランスを学修する。		
45	【定期チェック5】 オールウェーブ実習⑩	これまでの学修の成果として、40分で全頭作成することについてチェックを行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
オールウェーブ用具一式		定期チェック1	10.0%	
日本理容美容教育センター監修美容技術理論		定期チェック2	10.0%	
		定期チェック3	10.0%	
		定期チェック4	10.0%	
		定期チェック5	10.0%	
		学期末試験	50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(実習) アップ基礎 (前期)		美容学科/1年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷 愛子
授業の概要				
<p>アップスタイルに必要な基礎知識を学び、サロンに出た時に役に立つ技術も学修する。            夜会巻きの基礎スタイルでの道具の取り扱いでは、美容師としての必要な心構えも学修する。            また、ホットカーラーの巻き方も学ぶため、アシスタントとしての技術も合わせて身につけることができる。</p>				
授業終了時の到達目標				
アップスタイルの基本技術を体得しボリューム感や丸みの調整ができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~2	アップスタイルの概論と一側結びの実践練習	道具の名称、スタイリング剤の使い方、道具の使い方、髪の毛にしっかり慣れてもらう。レクチャーと実践練習		
3~4	アップスタイルの概論と下準備の実践練習	ホットカーラーの巻き方と実践練習		
5~6	夜会巻き実践①	夜会巻きのブロッキングの手順、土台の作り方、ピンの止め方、すき毛の位置と作り方		
7~8	夜会巻き②	抱き合わせのレクチャーと実践練習 面の出し方に注意して作る		
9~10	夜会巻き③	夜会巻きの完成形のレクチャーと実践練習		
11~12	夜会巻き④	夜会巻きを完成させる 各部分事によって作る。苦手な所を練習する		
13~14	夜会巻き⑤	校内コンテストを意識させたタイムトライアルでの実践練習。ホットカーラーを巻いての下準備		
15	夜会巻き校内コンテスト	60分での校内コンテスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アップ道具一式 美容技術理論1 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)		授業態度 校内コンテスト結果	40.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(実習)美容基礎(前期)		美容学科/1年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	泉谷愛子/滝口大輔/水本健一

授業の概要

1-1~1-10回  
 メイクアップの技術の目的と技法種類、施術上の注意についての知識を学修する。  
 メイクアップの技術において用いられる主な薬品と器具・用具の基本的な使用方法や手順、衛生技術を学修することで施術を受ける側にたったメイクアップアーティストを

2-1~2-10回  
 この科目ではベーシックカットの一つであるワンレングスカットを学修することで、カットの基礎と理論を理解しその後のカット技術の習熟度を高めることにつながる基礎となる実習です。

3-1~3-10回  
 この科目では「グレイカラー(白髪染め)」を学修します。  
 ヘアカラーの拾い方・拾うカラー剤の量・手への乗せ方・髪にカラー剤をのせる回数など、それを繰り返し、基本の動きの型をきちんと身につけていくことを目指します。

授業終了時の到達目標

1-1~1-10回  
 ・メイクアップの基礎技術と理論の修得が出来る。  
 ・各化粧品の種類と目的、効果を理解し、時間内に正しい手順で行うことができる。  
 ・骨格や肌質にあったメイクアップを考えることができる。

2-1~2-10回  
 ワンレングスカットができるようになる。  
 ヘアデザインを行うための基礎知識が身につく。  
 その他のヘアスタイルに発展できる基礎力が身につく。

3-1~3-10回  
 ヘアカラーリング技術のベースとなる適切な手順や、塗布技術などの基礎技術が身につく。

実務経験有無	実務経験内容
有	滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。

時間外に必要な学修

実習の前後には予習復習をして習熟を図る

回	テーマ	内容
1-1	メイクアップの必要性・技術者としての心得。下準備と片付け、手入れ方法	メイクアップの必要性・技術者としての心得について考える。メイクアップ前の下準備・道具の名称と使用方法、手入れ方法
1-2	ベーシックメイクアップについて メイクアップの基本プロセス	ベーシックメイクアップについての説明とメイクアップ施術の準備と手順基本プロセスのデモンストレーション。
1-3	スキンケア 肌質	スキンケアの目的を考える。肌質を理解し、肌や毛穴のコンディションを整えるスキンケアのテクニックを表現できる。
1-4	ベースメイクアップ①困地	プライマー・コンシーラーの目的を理解し、肌のトラブル(ニキビ、シミ、クマ)を目立たなくする部分ファンデーションを学修する。
1-5	ベースメイクアップ②ファンデーション、パウダー	ファンデーション・フェイスパウダーテクニックを学び、崩れないメイクアップの手法とコツを学修する。
1-6	ベースメイクアップ③コントロールカラー、ハイライト・ローライト	コントロールカラーの種類と目的を理解し、ベースメイクアップの手順を学修する。ハイライトやローライトの使い分けを学修する。
1-7	アイブロウ。アイメイクアップ	目的と種類、色・形とイメージを考える。ポイントメイクアップの正しい手順を学修する。

回	テ ー マ	内 容		
1-8	チーク・リップ	目的と種類、色・形とイメージを考える。ポイントメイクアップの正しい手順を学修する。		
1-9	技術のまとめ	目的、効果を理解し正しい手順で最終作品を作る		
1-10	技術のまとめ	目的、効果を理解し正しい手順で最終作品を作る		
2-1~ 2-2	カッティングとは (ベーシックカット)	正しくカッティングするために・カットの概要を学修する。		
2-3~ 2-4	カッティング実践・ワンレングス (平行)①	ワンレングスのとかしつけ。バックを床と垂直にとかしつけ床と並行にカットすることを学修する。		
2-5~ 2-6	カッティング実践・ワンレングス (平行)②	両サイドのフロントのコーミングの仕方を説明。サイドのカットを学修する。		
2-7~ 2-8	カッティング実践・ワンレングス (平行)③	ワンレングスを全体通してカット。床と並行に切り終わっているか等、バランスを学修する。		
2-9~ 2-10	カッティング実践・ワンレングス (平行)④	ワンレングスを全体通してカット。床と並行に切り終わっているか等、バランスを学修する。		
3-1~ 3-2	ヘアカラーリング基礎・グレイカラー①	ハケの使い方、塗布の仕方、スライスの取り方		
3-3~ 3-4	ヘアカラーリング基礎・グレイカラー②	ハケの使い方、塗布の仕方、スライスの取り方 均一な塗布量。チェックの仕方		
3-5~ 3-6	ヘアカラーリング基礎・グレイカラー③	ハケの使い方、塗布の仕方、スライスの取り方 均一な塗布量。チェックの仕方		
3-7~ 3-8	ヘアカラーリング基礎・グレイカラー④	優しく丁寧にきれいな仕事を目指す		
3-9~ 3-10	ヘアカラーリング基礎・グレイカラー⑤	トレーニングクリーム塗布		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
1~10回 美容技術理論（日本理容美容教育センター監修）		実習・実技評価 確認テスト	80.0%	
11~20回 美容技術理論（日本理容美容教育センター監修）			20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(実習) サロンワーク基礎 (前期)		美容学科/1年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷愛子/滝口大輔/水本健一
授業の概要				
この科目ではヘアサロン監修のシャンプーマニュアルで実習を行うことでサロン内で信頼されるアシスタント、お客様に支持される即戦力の(技術力)と(人間力)を身につけたアシスタントを目指します。				
授業終了時の到達目標				
各サロンの手順に従って、シャンプーができる。 シャンプーの際の手の動かし方や力の入れ方が理解できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~3	シャンプー・概要説明・手の動かし方。ドライの手順方法	マニュアルをベースにウィッグを使って手の動きを確認。バックシャンプーの感覚を学修する。		
4~5	シャンプー① ドライ方法	まずは髪の毛を均等に濡らす練習。声のかけ方や水が顔にはねない角度などを学修する。		
6~7	シャンプー② ドライ方法	前回の復習をしながら1シヤンの練習。利き手と逆の手の動かし方を学修する。		
8~9	シャンプー③ ドライ方法	1・2シヤン目のバックシャンプーを練習。手の動かし方や力の入れ方の違いを学修する。		
10~11	シャンプー④ ドライ方法	1・2シヤン目のバックシャンプーを練習。ホットタオル、トリートメントを学修する。		
12~13	シャンプー⑤ ドライ方法	接客～シャンプーブースまでのご案内から、バックシャンプーの一連の動きを通しておこなう(接客～シャンプー重点)		
14~15	シャンプー⑥ ドライ方法	接客～シャンプーブースまでのご案内から、バックシャンプーの一連の動きを通しておこなう(シャンプー～ドライ重点)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
シャンプーマニュアル(ヘアサロン監修)		実習・実技評価 確認テスト	80.0% 20.0%	授業の前後には、予習復習をして習熟を図る事。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(実習) サロンワーク基礎 (後期)		美容学科/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷愛子/滝口大輔
授業の概要				
<p>サロンでの学外実習を通じ、美容師の仕事の実態を知る。 現場での職場体験を通じ、美容師に必要なスキルを把握し、今後の学修に活かす。</p>				
授業終了時の到達目標				
美容師の仕事に必要なスキルを理解し、今後の学校生活において自己が改善すべき課題、高めるべきスキルについて理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
日々のサロンの実習内容を振り返り、翌日の改善につなげる				
回	テーマ	内容		
1~ 2	学外実習(導入)	サロン実習に向かうための心構え、最低限必要なスキルについてチェックする。		
3~ 6	学外実習(1日目)	サロンワークを通じて美容師の現場の仕事について理解を深める。重点項目として挨拶、笑顔を心がける		
7~ 10	学外実習(2日目)	サロンワークを通じて美容師の現場の仕事について理解を深める。重点項目として敬語の使い方を心がける		
11~ 14	学外実習(3日目)	サロンワークを通じて美容師の現場の仕事について理解を深める。重点項目として積極性・チームワークを意識する		
15	学外実習振り返り	学外実習の振り返りから、今後の自分の課題を把握する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
自作教材(導入プリント) 研修日誌		サロン評価 研修日誌	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) 共通技術 (後期)		美容学科/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	泉谷愛子/表康子/谷知里
授業の概要				
<p>1-1~1-10 まつ毛エクステンション…まつ毛エクステンションについての基礎知識を学修。衛生管理を知ること で、美容技術者としての責任と、お客様の目元を触らせていただくという意識を育む。</p> <p>2-1~2-10 ネイル…サロンワークで通用するネイルケア、ネイルアートに関する技術及び知識を学修する。</p> <p>3-1~3-10 スタイリングマップ…骨格や肌の色に合わせたデザインを学修し、お客様への提案力を身につけること により、自己の美容に対する意識を高め、業界から必要とされる美容人になる知識の習得を目指しま す。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>1-1~1-10 まつ毛エクステンション…アイリストとしての最低限の理論を学び、正しい姿勢が身につく</p> <p>2-1~2-10 ネイル…ネイリスト技能3級検定合格の知識と技能が身につく</p> <p>3-1~3-10 スタイリングマップ…スタイリングマップ検定の取得。お客様に最適なスタイリングを提案できるよ うになり、お客様の満足度を高める知識が身につく</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	泉谷、表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 谷は美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1-1~ 1-2	まつ毛エクステンションの概論①	美容技術としてのまつ毛エクステンションの歴史、近年の トラブルの事例を学修する。		
1-3~ 1-4	まつ毛エクステンションの概論②	まつ毛エクステンションの道具と薬剤（グルー）について 説明できる。		
1-5~ 1-6	アレルギーについて	ホルムアルデヒド等の有害物質の発生について説明でき る。		
1-7~ 1-8	実習①	エクステンションの取り扱いやツイザーの使用方法を学修 する。		
1-9~ 1-10	実習② 確認テスト1	エクステンション装着やリムービングの技術を学修する。		
2-1~ 2-2	ネイル教材配布・説明・検定につい て	ネイルの需要・教材内容の把握・検定の必要性など		
2-3~ 2-4	基本手順①	ファイリング・カットスタイル・ウッドスティック削り		
2-5~ 2-6	基本手順②	ネイルの技術体系・爪の構造と働き・クリーンナップ		
2-7~ 2-8	基本手順③	ネイルの歴史・クリーンナップ（ニッパー）		
2-9~ 2-10	基本手順④ 確認テスト2	カラーリング 確認テスト		



回	テ ー マ	内 容		
3-1~ 3-4	スタイリングマップセルフチェック	好きな色、形、素材、スタイリングイメージのグループを学修する。		
3-5~ 3-8	物、人の分析分類 内面分析分類	色の理論、似合わせ、形の理論、似合わせを学び提案の幅を学修する。思考、言動の分析・分類。内面も分析する事で異なる視点からの似合わせを提案し学修する。		
3-9~ 3-10	スタイリングマップの総まとめ	総合的に演習を行うことでの振り返りと確認テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
まつ毛エクステンション…美容技術理論2 (日本理容美容教育センター監修) ネイル…美容技術理論2 (日本理容美容教育センター監修) スタイリングマップ…スタイリングマップ 検定テキスト		確認テスト1 確認テスト2	50.0% 50.0%	

科目名 (総合) カット応用 I (後期)		学科/学年 美容学科 (ヘアスタイリスト)/1年	年度/時期 2021/後期	授業形態 実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	選択	表康子/滝口大輔
授業の概要				
この科目では国家試験課題カットとは違い、野沢テキスト8スタイルを使ってヘアスタイルの構成や流行、似合わせを学修しスタイルカットの技術と理論の習得を目指します。				
授業終了時の到達目標				
野沢テキストの中の4スタイルのカットができる。 4スタイルのスタイリングができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表・滝口はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~ 2	ラウンドグラデーション	スタイルの構成/展開図/デモンストレーション		
3~ 4	野沢ゼミ・ラウンドグラデーション	野沢ゼミ		
5~ 6	マッシュ	スタイルの構成/展開図/デモンストレーション		
7~ 8	野沢ゼミ・マッシュ	野沢ゼミ		
9~ 10	ショートレイヤー	スタイルの構成/展開図/デモンストレーション		
11~ 12	野沢ゼミ・ショートレイヤー	野沢ゼミ		
13~ 14	野沢カット・これまでのスタイル復習	検定に向けてこれまで習ったスタイルを切りなおす。		
15	野沢カット・確認テスト	制限時間内に完成させる。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
野沢テキスト (KBG出版)		授業態度 確認テスト	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合)アシスタント実務Ⅰ (後期)		美容学科 (ヘアスタイリスト)/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	選択	表康子/滝口大輔
授業の概要				
美容師の仕事といえはまずアシスタントもスタイリストも共通するのがサロンでの業務です。スタイリストは業務を全て一人でこなすのに対し、アシスタントはスタイリストのサポート役にまわります。 サロンでの1日を知る。				
授業終了時の到達目標				
接客業務、特にアシスタントの業務内容を理解し、実際の場で活用できる。 お客様に対する気配りの在り方が身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表・滝口はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~ 2	学内サロンオープンに向けて①	スタイリスト専攻ゴール説明 内容提示、ルール説明。デンマンブラシ使い方、バックシャンプー		
3~ 4	学内サロンオープンに向けて②	導線の説明 接客ロープレ・お客様とレセプション、相モデル バックシャンプー、ドライ、ブロー、デンマンブラシ		
5~ 6	学内サロンオープンに向けて③	接客 ロープレ・アシスタント、スタイリストの流れ バックシャンプー、ドライ、ブロー、デンマンブラシ		
7~ 8	学内サロンオープンに向けて④	サロンのチーム決め・店長・副店長決め レセプション、スタイリスト、アシスタント、お客様に分かれてロープレ バックシャンプー、ドライ、ブロー、デンマンブラシ		
9~ 10	学内サロンオープンに向けて⑤	レセプション、スタイリスト、アシスタント、お客様に分かれてロープレ バックシャンプー、ドライ、ブロー、デンマンブラシ		
11~ 12	学内サロンオープンに向けて⑥	サロンごとのコンセプト話し合う サロンオープン当日の役割決め		
13~ 14	学内サロンオープンに向けて⑦	ロープレ発表、評価、改善点話し合う サロン1・2		
15~ 16	学内サロンオープンに向けて⑧	ロープレ発表、評価、改善点話し合う サロン3・4		
17~ 18	学内サロンオープンに向けて⑨	改善点をもとにロープレ		
19~ 20	学内サロンオープンに向けて⑩	改善点をもとにロープレ		
21~ 22	学内サロンオープンに向けて⑪	サロンコンセプトつめていく、話し合い 模造紙にまとめる。		
23~ 24	学内サロンオープンに向けて⑫	サロンコンセプト発表 ロープレ		

回	テ ー マ	内 容		
25～ 26	学内サロンオープンに向けて⑬	最終チェック		
27～ 28	学内サロンオープンに向けて⑭	最終チェック		
29～ 30	学内サロンオープンに向けて⑮	サロンオープン		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益財団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1		授業態度 実習・実技評価	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) ブライダルスタイリスト実務Ⅰ (後期)		美容学科 (ブライダル・ヘアメイク)/1年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	90単位時間	選択	泉谷 愛子
授業の概要				
<p>婚礼のみならず、婚礼に携わる者として必要な知識や技術、伝統までを学修する            ブライダルスタイリストとして婚礼に関して必要な伝統文化を含めた基礎知識を知ること、現在の婚礼のあらましを理解し、かつらあわせの技術を学修する            外部講師による婚礼美容技術を習得し、作品としてフォト撮影をおこなう</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>婚礼業務に関するマナーやしきたりについての知識、かつらの装着技術を身に付ける。            婚礼美容技術を身に付け、ギフトウェディングで生かされるように作品撮りをしていく。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		サロンで20年近く、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~2	婚礼について 皮膚科学の仕組み	現在の婚礼事情を知ること、婚礼の仕事に対するイメージを作ることができる。 皮膚の構造機能、皮膚に与える影響理解し修得する。		
3~4	メイクアップについて 美しい美肌作り	美しい肌を作るために必要なことを学修する 実際に美肌レシピを作る 顔バランスを見てメイクへの実践練習に繋げる		
5~6	社会人としてのマナー	身だしなみ、正しい姿勢、言葉遣いを身に付ける 敬語と謙譲語の修得 サービス業務の基本技術		
7~8	婚礼について	挙式の種類、婚礼の種類を学修する 結婚式での衣装の決まり事 ブーケの種類		
9~10	花嫁かつら①	文金高島田の概要、かつらの各部名称 下地作り		
11~12	花嫁かつら②	下地作りとかつら装着のレクチャーと実践練習		
13~14	花嫁かつら③	下地作りとかつら装着のレクチャーと実践練習		
15~16	花嫁かつら④	下地作りとかつら装着のレクチャーと実践練習		
17~18	花嫁かつら⑤	下地作りとかつら装着のレクチャーと実践練習 検定を意識した実践練習		
19~20	花嫁かつら⑥	下地作りとかつら装着のレクチャーと実践練習 検定を意識した実践練習、筆記対策		
21~22	B B M検定	筆記試験、実技試験		
23~24	洋装花嫁スタイル①	コテの使い方、巻き方、ホットカーラーの巻き方 洋装花嫁スタイルを作る		
25~26	洋装花嫁スタイル② 前回の復習	コテの使い方、巻き方、ホットカーラーの巻き方 洋装花嫁スタイルを作る		

回	テ ー マ	内 容		
27～ 28	和装花嫁スタイル①	逆毛の立て方、面のあるスタイルを作る すき毛の扱い		
29～ 30	和装花嫁スタイル② 前回の復習	逆毛の立て方、面のあるスタイルを作る 和装花嫁スタイルを作る		
31～ 32	短い髪の長さでのアレンジ技術 今までの復習	コテを使い短いアレンジヘアを学修する 人頭で実践練習		
33～ 34	フォト撮影とフォトブック作り①	フォト撮影のカメラ構造など学修する		
35～ 36	フォト撮影とフォトブック作り②	モデル決め 花嫁フォトにおけるイメージを作る		
37～ 38	フォト撮影とフォトブック作り③	フォトイメージを実践練習と作品撮り		
39～ 40	カット応用①	開閉練習とはさみに慣れる		
41～ 42	カット応用②	開閉練習とはさみに慣れる ワンレングスカット		
43～ 45	カット応用③	開閉練習とはさみに慣れる セイムレイヤー		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ブライズビューティーマイスターテキスト (一般社団法人 全国婚礼美容推奨協会) アップ道具一式、コテ、スタイリング剤		確認テスト 実習・実技評価 授業態度	40.0% 40.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(演習) クリエイティブスタイルⅠ (前期)		美容学科/1年	2021/前期	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷愛子/表康子/滝口大輔
授業の概要				
副校長 HANABUSA代表山本公生 など外部講師による特別授業。 サロンスタイルのセットの基礎、インスピレーションにあふれたクリエイティブなセットを直々に伝授。 サロンワークや撮影、ヘアショーにも繋がる現場のテクニックを、余すことなく現役美容師が教える。				
授業終了時の到達目標				
サロンスタイルのセットの基本を習得し、インスピレーションを生かしたクリエイティブな作品を作り出すことができる。 ヘアショー、サロンワークなどどんな状況でも自分の思い描いたイメージを形にできる。 美容の楽しさを実感できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		泉谷・表・滝口は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1～2	外部講師によるパーティーヘア、セット①	サロンスタイルのヘアアレンジのデモンストレーション 髪の留め方などの基礎技術を学修する。		
3～4	外部講師によるパーティーヘア、セット②	基礎技術の定着が出来ているかを確認する。 次回への予習		
5～6	外部講師によるパーティーヘア、セット③	クリエイティブスタイルのヘアアレンジのデモンストレーション。自分のインスピレーションを具体化させるコツを学修する		
7～8	外部講師によるパーティーヘア、セット④	外部講師のもと、スタイルを作りながら前回の復習。 ヘアアレンジを学修する。		
9～10	外部講師によるパーティーヘア、セット⑤	外部講師のもと、スタイルを作りながら前回の復習。 どれだけ習得しているか確認テスト。		
11～12	外部講師によるパーティーヘア、セット⑥	今に至るまでに習得した技術をベースにクリエイティブな作品を作る		
13～15	外部講師によるパーティーヘア、セット⑦	2年次のフォト撮影授業に向けて予習授業。 カメラの構造、被写体バランスなど、カメラワークを学修する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アップ道具一式、スタイリング剤、コテ		実習・実技評価 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(演習) カラー応用 (後期)		美容学科/1年	2021/後期	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	表康子/泉谷愛子/滝口大輔
授業の概要				
この科目ではカラー基礎で身に付けた「グレイカラー (白髪染め)」を極める卒業後にすぐカラーが塗れる即戦力美容師を目指します				
授業終了時の到達目標				
決められた時間の中で優しく丁寧にきれいな仕事を目指す サロンワークで必要とされるカラー剤の塗布スピード、正確性を学修する。リタッチ技術を身に付ける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表・泉谷・滝口はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図る				
回	テーマ	内容		
1~2	ヘアカラーリング応用・グレイカラー①	ハケの使い方、塗布の仕方、スライスの取り方、復習		
3~4	ヘアカラーリング応用・グレイカラー②	タイムの意識 ウィッグをお客様と思い接していく		
5~6	ミルボン研修	ミルボンのインストラクターからのカラー講義		
7~8	ヘアカラーリング応用・グレイカラー④	タイムの意識 優しく丁寧にきれいな仕事を目指す		
9~10	ヘアカラーリング応用・グレイカラー⑤	タイムの意識 優しく丁寧にきれいな仕事を目指す		
11~12	ヘアカラーリング応用・グレイカラー⑥	タイムの意識 優しく丁寧にきれいな仕事を目指す		
13~15	ヘアカラーリング応用・グレイカラー確認テスト	サロンワークで必要とされるカラー剤の塗布スピード、正確性を学修する。リタッチ技術を身に付ける。 カラー材塗布、確認テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 (日本理容美容教育センター監修)		授業態度 実習・実技評価	30.0% 70.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザイン		美容学科/1年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷愛子/表康子
授業の概要				
<p>将来の就職活動に向けて、基礎となる自身の目標設定を行います。また、後期からの就職活動に向けて業界やそこに属する企業についての知識を増やします。</p> <p>個人ワークやグループワークを通じて個人の考えをまとめること、チームで話し合いをすること、またその中でリーダーシップやプレゼンテーション能力についても併せて考え、実践していきます。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す美容師像の設定ができる</li> <li>・2年間の自分自身の目標を設定できる</li> <li>・就職活動に向けて広い視野でサロンの情報を集められるようになる</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること				
回	テーマ	内容		
1	私が目指す美容師像	現在の自分がどういう美容師になりたいかを描く。個人ワークからグループワークを実施して考える。		
2	売れっ子美容師の条件とは	理想の美容師増とは？理想の美容師増に近づくためにはどのようなことを身につける必要があるかを考える		
3	なぜ働くかを考える	そもそも人はなぜ働くか？自分自身はなぜ働くかを考える		
4	サロンが求める人材について考える	サロンが求める人材とは？求められる人材になるためには？を考える		
5	美容業界について	美容業界とはどのような業界なのかを学ぶ		
6	サロン見学①	夏休みのサロン見学のために見るべきポイント		
7	サロン見学②	サロン見学のための電話のかけ方 サロン探しをする		
8	サロン見学③	サロン見学でのプレゼンテーション		
9	ビジネスマナーの基礎①	社会人になるとは 基本動作、お辞儀の仕方を学修する		
10	ビジネスマナーの基礎②	言葉遣い 社会人としての敬語の使い方を学修する		
11	ビジネスマナーの基礎③	電話の対応 姿が見えない相手への言葉による接客を学修する		
12	ビジネスマナーの基礎④	電子メールのマナー ビジネスメールのマナーを学修する		
13	面接対策①	面接の目的・自己分析 自分を掘り下げることによって面接対策を学修する		
14	面接対策②	自己分析シートの作成と志望動機作成 自己PR分を作成する		

回	テ ー マ	内 容		
15	面接対策③	履歴書の作成 リモート面接対策		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	就職活動の教科書（株式会社エイドクリエイツ）	課題レポート 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
接遇・マナー		美容学科/1年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	作本 智美

## 授業の概要

この授業では、ビューティ・コーディネーターとしてのホスピタリティと仕事のスキル、ビューティ・コーディネーターの仕事について、ビューティ・コーディネーターに必要な美容知識を学修します。

## 授業終了時の到達目標

- ・ビューティ・コーディネーターとして必要なホスピタリティに関する知識を修得する。
- ・サロンにおける基本的な接客のマナーを身に付ける。
- ・サロンにおけるフロアマネジメントについて理解する。
- ・接客をする上で必要な美容知識を修得する。

## 実務経験有無

## 実務経験内容

無

## 時間外に必要な学修

テキストと各授業の終わりに実施する確認テストでしっかりと復習を実施してください。

回	テーマ	内容
1	サロンにおけるビジネスキャリア	社会人としての職業意識や仕事の取組み方を学び、社会人としての基本的な考えについて理解を深める
2	ホスピタリティとコミュニケーション	ホスピタリティとそれを発揮するビジネスコミュニケーションについて学ぶ
3	サロン内のコミュニケーション	職場内のコミュニケーションと職場での基本的なマナー・ルールについて学ぶ
4	接客の基本と電話の受け方、かけ方	接客の基本的なマナー、言葉遣い、電話対応の基本を学習し、ロールプレイングなどを通して習得を目指す。
5	サロンのメディア活用	サロンではどのようなメディアを活用していくのかを学習し、理解をもとめる
6	ビューティ・コーディネーターの仕事①	ビューティ・コーディネーターの役割と能力を理解する。
7	ビューティ・コーディネーターの仕事②	ビューティ・コーディネーターの仕事にはどのようなものがあるかを学ぶ
8	ビューティ・コーディネーターの仕事③	ビューティ・コーディネーターとしてお客様に提案するための美意識やファッションについて学ぶ
9	ビューティ・コーディネーターの美容知識	ビューティ・コーディネーターとして最低限備わるべき美容基礎理論や美容メニューの基礎知識などを学ぶ
10	問題演習①	問題演習を通じてこれまで学んできた学習への理解を深める
11	問題演習②	問題演習を通じてこれまで学んできた学習への理解を深める
12	問題演習③	問題演習を通じてこれまで学んできた学習への理解を深める
13	ビューティ・コーディネーターの仕事実践①	ビューティ・コーディネーターの仕事を理解し、実際に接客、カウンセリングを行い理解を深める
14	ビューティ・コーディネーターの仕事実践②	ビューティ・コーディネーターの仕事を理解し、実際に接客、カウンセリングを行い理解を深める

回	テ ー マ	内 容		
15	ビューティ・コーディネーターの仕事実践③	ビューティ・コーディネーターの仕事を理解し、実際に接客、カウンセリングを行い理解を深める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
jbca3級テキスト		期末試験 確認テスト	70.0% 30.0%	